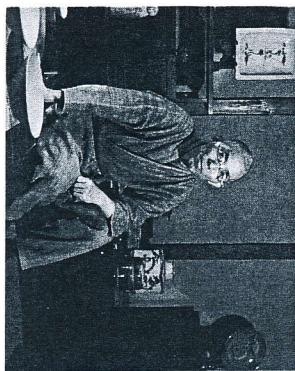


●1943・昭18/53歳

戦争のため作陶困難になり12月の新作展を以って個展、一時中止になる。

●1946・昭21/56歳

柳宗悦の仲立て、息女須也子に、京都の織維問屋荒川伝七の次男博(現博次)を養嗣子として迎える。



昭20頃

●1947・昭22/57歳

「工業製品の美」と題し、手づくりではなく機械製のものにも美は存在すると、ガラス製の醤油注を例にとり、毎日新聞に寄稿。  
棟方志功の版画で、河井詞「火の願ひ」(私家版)刊行。  
陶土自刻の土版による「いの中の窓」(私家版)刊行。

●1948・昭23/58歳

「化粧陶器」刊行(西村書店)。  
「いの中の窓」刊行(西村書店)。

●1949・昭24/59歳



●1959・昭34/69歳

自動車、スクーターなどの正面等、見えるものすべてが、「面」に見え、きかんに木彫を行なう。

●1960・昭35/70歳

木彫の面から陶彫の面を作る。  
新作陶磁展開催(東京日本橋・高島屋)。  
木彫面主題をとりつた陶彫面十数点も陳列。



昭34.10.9 全国民藝協会第三回大会

●1961・昭36/71歳

新作陶磁展開催(東京日本橋・高島屋)。  
陶彫面や、「招縄と食」、「父天母地」等の書も陳列。

●1962・昭37/72歳

「民藝」1月号より「六十年前の今」を連載する。

●1964・昭39/74歳

「民藝」に連載の「六十年前の今」に「立春開門」「雪の合堂花の合堂」「郷歌始終」とい



昭34.9.1

彫ることろわれない不定形の作品を制作し始める。あふれるような制作意欲はその作風を通じて従来の工芸的な陶器の世界から飛び出させる。

●1950・昭25/60歳

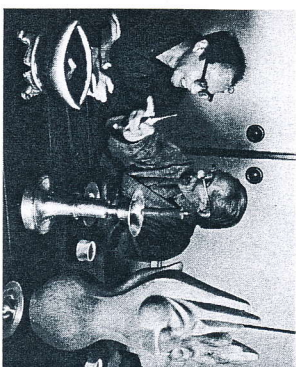
手の木彫像をつくる。京仏師の松久武雄(現宗琳、当時25歳)が下彫りを手伝う。以後十数年にわたって木彫は制作される。木の板をもらいて拓本「仕事」及び12点からなる「詞画」拓本を制作する。

●1953・昭28/63歳

朝日新聞社より「火の誓ひ」刊行。  
「いのちの窓」の詞を挿入した  
「We Do Not Work Alone」  
(内田淑子)刊行。

●1955・昭30/65歳

「五十年前の今」を一年間「民藝」に連載する。この頃、真鍮キセルのデザインをし、郷里の工人、金田勝造を指導し制作する。



昭32 ミラノ・トリエンナーレ受賞  
(菱型花絵扁壺)の日

●1957・昭32/67歳

「民藝」2月号で式場氏と対談。  
10月2日ー7日、陶業四十年展開催(朝日新聞社・名古屋民藝協会主催、名古屋・オリエントル中村)。新田の代表作に加えて木彫(手のシリーズ)を陳列。  
ミラノ・トリエンナーレ国際工芸展で出品作「白地草花絵扁壺」(昭和14年作)が「グラフィック」を受賞する。これは、パリ万国博展の時と同じく、川勝撃一が自己藏品中より出品したものである。「グラフィック」の栄誉は作品自身からもらったもので、自分かもらったものではない。あれは民族の伝統が受賞したものである」と語る。

●1958・昭33/68歳

新作陶磁器展開催(東京日本橋・高島屋)。年初より考案の幾何学的な土型の押文様(貼付け)を施した扁壺や色釉を用いた打楽による作品等、約120点。また木彫面30点も陳列。

手を主題としていた木彫は人物像に発展、可動性の手や足がとりつけられる。また木彫面へとさらに進展、次々と精力的に陶土による原型を手かきける。

つた一連の文章を毎月発表。独自の文学的世界を表現する。

●1965・昭40/75歳

5月17日毛筆による“自警”をかき。

●1966・昭41/76歳

11月2日、専売公社病院に入院するも衰弱の一途をたどる。  
意識は極めて明瞭なるも、11月18日午後1時5分、眠るかごとく逝く。

●1973・昭48

河井寛次郎記念館開館

●1976・昭51

河井寛次郎<木の仕事>展開催(神戸・大丸)。  
約100点よりなる木彫像・木彫面のすべてが一堂に陳列される。  
「木の仕事」と題した「木彫作品集」と「私のなかの河井寛次郎」(荒川玄二郎編)を記念館刊行。

●1978・昭53

河井寛次郎墨画集(荒川玄二郎編)・五月書房より刊行。  
「好迎歓語」東峰書房より刊行。

●1979・昭54

「詞画託本」(掌中版)東峰書房より刊行。



昭41夏

●1981・昭56

「陶技始末」文化出版局より刊行。  
「手で考え足で思う」文化出版局より刊行。  
五葉一組150部限定の託本詞画集「土版いのちの窓」作成。

●1987・昭62

11月「河井寛次郎と仕事」展  
木彫80点を主にした陳列。(陶器65点、デザイン類数十点)。(東京小田急・グラントギヤラー)